

# クラウドファイルサーバーご利用ガイド

第 2.21 版

2023/11/06

富士通株式会社

## ＜変更履歴＞

版数	発行日	変更内容
初版	2013/01/08	—
1.1	2013/07/16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「7.3. Internet Explorer の設定」の (11) 英語メニュー対応によるログイン画面の変更。</li> <li>・「9.1. ファイルサーバー管理者の初期パスワード変更」の (3) および (4) 英語メニュー対応によるログイン画面の変更。</li> <li>・「9.2. 一般ユーザーの初期パスワード変更」の (3) および (4) 英語メニュー対応によるログイン画面の変更。</li> </ul>
1.2	2013/08/21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「11.0. 留意事項」の (1) パソコンの日付と時刻の設定を修正。</li> </ul>
1.3	2013/09/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「6. 動作環境」 英語 OS のサポートを追加。 OS で Windows8 Pro/ Enterprise のサポートを追加。 ブラウザで Internet Explorer10 のサポートを追加。</li> <li>・「7.3. Internet Explorer の設定」の (8) Internet Explorer10 で【暗号化されたページをディスクに保存しない】のチェックを外す、を追加。</li> <li>・「10. サポート言語」 英語メニュー対応により追加。</li> </ul>
2.0	2013/10/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4. ファイルサーバーのユーザー構成と機能概要を理解する」の (2) 利用者機能にファイル名でのファイル検索を追加。 利用者機能にファイルのロック取得を追加。</li> <li>・「5.1. ファイル管理の構造」の (2) ドローアクセス権限によりユーザーが利用できる機能にファイル名検索を追加。 ドローアクセス権限によりユーザーが利用できる機能にファイルのロック取得を追加。</li> </ul>
2.1	2013/11/20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「6. 動作環境」のパソコンの動作環境 ネットワークを追加。</li> <li>・「11. 留意事項 (必ずお読みください)」 ネットワークの設定について、を追加。</li> </ul>
2.2	2014/03/14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4. ファイルサーバーのユーザー構成と機能概要を理解する」の (2) 動作環境設定を追加。</li> <li>・「6. 動作環境」</li> </ul>

		<p>OSに Microsoft Windows8.1 Pro/Enterprise を追加。 ブラウザに Microsoft Internet Explorer11 を追加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「7.3 Internet Explorer の設定」の (8) Internet Explorer11 を追加。</li> <li>・「11. 留意事項 (必ずお読みください) 」の(4) サポートポータルへの FAQ 掲載について、を追加。</li> </ul>
2.3	2014/04/13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「6. 動作環境」 OS の Windows XP (日本語版/英語版) のサポート停止のため削除</li> </ul>
2.4	2014/08/05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4. ファイルサーバーのユーザー構成と機能概要を理解する」(1) 管理機能 版数管理の利用有無の設定を追加。</li> <li>・「4. ファイルサーバーのユーザー構成と機能概要を理解する」の (2) 利用者機能 利用者機能にファイルの版数管理とフォルダツリーを追加。</li> <li>・「6. 動作環境」 ソフトウェアを Microsoft .NET Framework4 から Microsoft .NET Framework4 以上に変更</li> <li>・「5.1 ファイル管理の構造」の (2) ドロアへのアクセス権限で利用できる機能にファイルの版数管理とフォルダツリーを追加。</li> </ul>
2.5	2014/10/08	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3. 本書の位置づけ」 オプションサービスについて追加。</li> <li>・「4. ファイルサーバーのユーザー構成と機能概要を理解する」(1) 管理機能 オプションサービスの設定を追加。</li> <li>・「4. ファイルサーバーのユーザー構成と機能概要を理解する」(3) キャビネットオーナー機能 バックアップオプションサービスへのアクセス権限の設定を追加。</li> <li>・「8.1 ファイルサーバー管理者の作業」 オプションサービスの設定を追加。</li> <li>・「8.2 キャビネットオーナーの作業手順」 バックアップオプションサービスへのアクセス権限設定を追加。</li> <li>・「12. オプションサービスを利用する」を追加。</li> </ul>
2.6	2015/05/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「12.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」 OS に iOS8 を追加する。 Chrome42 に対応する。</li> </ul>

2.7	2015/10/20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「6. 動作環境」 OS に Microsoft Windows10 Pro/Enterprise を追加。</li> <li>・「12.1. バックアップオプションサービスの動作環境」 OS に Microsoft Windows10 Pro/Enterprise を追加。</li> </ul>
2.8	2016/01/13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「12.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」 OS に iOS9 を追加する。 Chrome47 に対応する。</li> </ul>
2.9	2016/03/04	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「6.動作環境 ネットワーク」</li> <li>・「11.留意事項（必ずお読みください）」</li> <li>・「12.1. バックアップオプションサービスの動作環境」 ネットワーク設定の内容を詳細に記載する。</li> </ul>
2.10	2016/05/20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「12.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」の PC の OS とブラウザの動作環境を追加する。</li> </ul>
2.11	2016/11/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「6.動作環境 OS」 Microsoft Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise SP2（日本語/英語） Microsoft Windows8 Pro/ Enterprise【32bit/64bit】（日本語/英語） を削除する。</li> <li>・「12.デスクトップアプリケーションを使用する」を追加する。</li> <li>・「12.1 デスクトップアプリケーションの動作環境」を追加する。</li> <li>・「13.バックアップオプションサービスを利用する」 （3）ネットワークドライブ対応オプションサービス を追加する</li> <li>・「13.3.ネットワークドライブ対応オプションサービスの動作環境」を追加する。</li> </ul>
2.12	2017/01/24	マニュアルの名称を見直す。
2.13	2017/02/13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「12.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」 Mac OS X にバージョン 10.12（Sierra）を追加する。 ブラウザに Safari 10 を追加する。</li> </ul>
2.14	2019/04/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「6.動作環境」 ブラウザ ※Web アプリケーション版 Microsoft Internet Explorer8 を削除する。 Microsoft Internet Explorer9 を削除する。 Microsoft Internet Explorer10（デスクトップ用のみ） を削除する。</li> <li>・「7.2..NET Framework のインストール」（7） Welcome 画面の変更</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「7.3.Internet Explorer の設定 (Web アプリケーション版)」 (3) (10) Welcome 画面の変更</li> <li>・「7.3.Internet Explorer の設定 (Web アプリケーション版)」 (8) Internet Explorer 8, 9, 10 の記事を削除する。</li> <li>・「9.1.ファイルサーバー管理者の初期パスワード変更」 (2) Welcome 画面の変更</li> <li>・「9.2.一般ユーザーの初期パスワード変更」 (2) Welcome 画面の変更</li> <li>・「10.1.Welcome 画面で表示する言語を切り替える」 (2) (3) Welcome 画面の変更</li> <li>・「10.2.ログイン画面とログイン後画面の言語を切り替える」 (1) Welcome 画面の変更</li> <li>・「13.1.バックアップオプションサービスの動作環境」 OS Microsoft Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise SP2 (日本語/英語) を削除する。 Microsoft Windows8 Pro/ Enterprise【32bit/64bit】 (日本語/英語) を削除する。 ブラウザ Microsoft Internet Explorer8 を削除する。 Microsoft Internet Explorer9 を削除する。 Microsoft Internet Explorer10 (デスクトップ用のみ) を削除する。</li> <li>・「13.2.タブレット対応オプションサービスの動作環境」 [タブレット] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Microsoft Windows8.1【32bit/64bit】 (日本語) Windows 8 モードは Chrome 49 で削除された為 Chrome を削除する。</li> <li>- iOS7 (日本語)、iOS8 (日本語)、iOS9 (日本語) を削除し、iOS12 (日本語) を追加する。</li> <li>- Android5.x (日本語)、Android6.x (日本語)、Android7.x (日本語) を追加する。</li> </ul> </li> <li>[PC] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Microsoft Windows 7【32bit/64bit】 (日本語) Chrome 50 を Chrome72 に更新する。 Fire Fox 45 を Fire Fox 62 に更新する。</li> </ul> </li> </ul>
--	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> <li>- Microsoft Windows 8.1【32bit/64bit】（日本語） Chrome 50 を Chrome72 に更新する。 Fire Fox 45 を Fire Fox 62 に更新する。</li> <li>- Microsoft Windows 10【32bit/64bit】（日本語） Edge 25 を Edge 41 に更新する。 Chrome 50 を Chrome72 に更新する。 Fire Fox 45 を Fire Fox 62 に更新する。</li> <li>- Mac OS X (v10.10, v10.11)（日本語）を削除する。</li> <li>- Mac OS X (v10.12)（日本語）を削除する。</li> <li>- macOS(10.14)（日本語）を追加する。</li> </ul>
2.15	2020/02/19	<p>以下、OS やブラウザのバージョンを見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「6.動作環境」</li> <li>・「12.1. デスクトップアプリケーションの動作環境」</li> <li>・「13.1.バックアップオプションサービスの動作環境」</li> <li>・「13.2.タブレット対応オプションサービスの動作環境」</li> <li>・「13.3.ネットワークドライブ対応オプションサービスの動作環境」</li> </ul>
2.16	2021/01/26	<p>以下、OS やブラウザのバージョンを見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「6. 動作環境」</li> <li>・「12.1. デスクトップアプリケーションの動作環境」</li> <li>・「13.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」</li> </ul>
2.17	2021/09/28	<p>以下を改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「6. 動作環境」</li> <li>・「11. 留意事項」</li> <li>・「13.1. バックアップオプションサービスの動作環境」</li> <li>・「13.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」</li> </ul>
2.18	2022/05/30	<p>以下を改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「6. 動作環境」</li> <li>・「12.1. デスクトップアプリケーションの動作環境」</li> <li>・「13.1. バックアップオプションサービスの動作環境」</li> <li>・「13.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」</li> <li>・「13.3. ネットワークドライブ対応オプションサービスの動作環境」</li> </ul>
2.19	2023/01/10	<p>以下を改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「6. 動作環境」</li> <li>・「12.1. デスクトップアプリケーションの動作環境」</li> <li>・「13.1. バックアップオプションサービスの動作環境」</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"><li>・「13.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」</li><li>・「13.3. ネットワークドライブ対応オプションサービスの動作環境」</li></ul>
2.20	2023/04/06	以下を改訂 <ul style="list-style-type: none"><li>・「6. 動作環境」</li><li>・「12.1. デスクトップアプリケーションの動作環境」</li><li>・「13.1. バックアップオプションサービスの動作環境」</li><li>・「13.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」</li><li>・「13.3. ネットワークドライブ対応オプションサービスの動作環境」</li></ul>
2.21	2023/11/06	以下を改訂 <ul style="list-style-type: none"><li>・「13.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境」</li></ul>

目次

1. はじめに.....	9
2. 本書の目的 .....	9
3. 本書の位置づけ .....	9
4. ファイルサーバーのユーザー構成と機能概要を理解する .....	10
5. ファイルサーバーのファイル管理を理解する.....	13
5.1. ファイル管理の構造 .....	13
5.2. 階層構造の作成 .....	16
6. 動作環境.....	17
7. パソコンの動作環境の設定とインストール .....	18
7.1. パソコンの環境設定手順.....	18
7.2. .NET Framework のインストール .....	19
7.3. インターネットオプションの設定（Web アプリケーション版） .....	22
8. ファイルサーバーご利用にあたっての作業手順.....	28
8.1. ファイルサーバー管理者の作業手順 .....	28
8.2. キャビネットオーナーの作業手順.....	29
9. はじめてログインする際の初期パスワードの変更 .....	30
9.1. ファイルサーバー管理者の初期パスワード変更.....	30
9.2. 一般ユーザーの初期パスワード変更.....	34



10.	サポート言語 .....	37
10.1.	Welcome 画面で表示する言語を切り替える .....	38
10.2.	ログイン画面とログイン後画面の言語を切り替える .....	40
11.	留意事項（必ずお読みください） .....	42
12.	デスクトップアプリケーションを利用する.....	46
12.1.	デスクトップアプリケーションの動作環境 .....	47
13.	オプションサービスを利用する .....	48
13.1.	バックアップオプションサービスの動作環境.....	51
13.2.	タブレット対応オプションサービスの動作環境 .....	52
13.3.	ネットワークドライブ対応オプションサービスの動作環境 .....	53

本書は、2023年11月6日時点の情報をもとに作成したものです。改良のため予告なく変更することがあります。

本書の無断複製および転載を禁じます。

本書に記載されている会社名・製品名・システム名・サービス名などは、各社の登録商標、もしくは商標です。

## 1. はじめに

クラウドファイルサーバー（以下、ファイルサーバー）は、クラウドコンピューティング技術を活用したファイル保管・共有のためのサービスです。

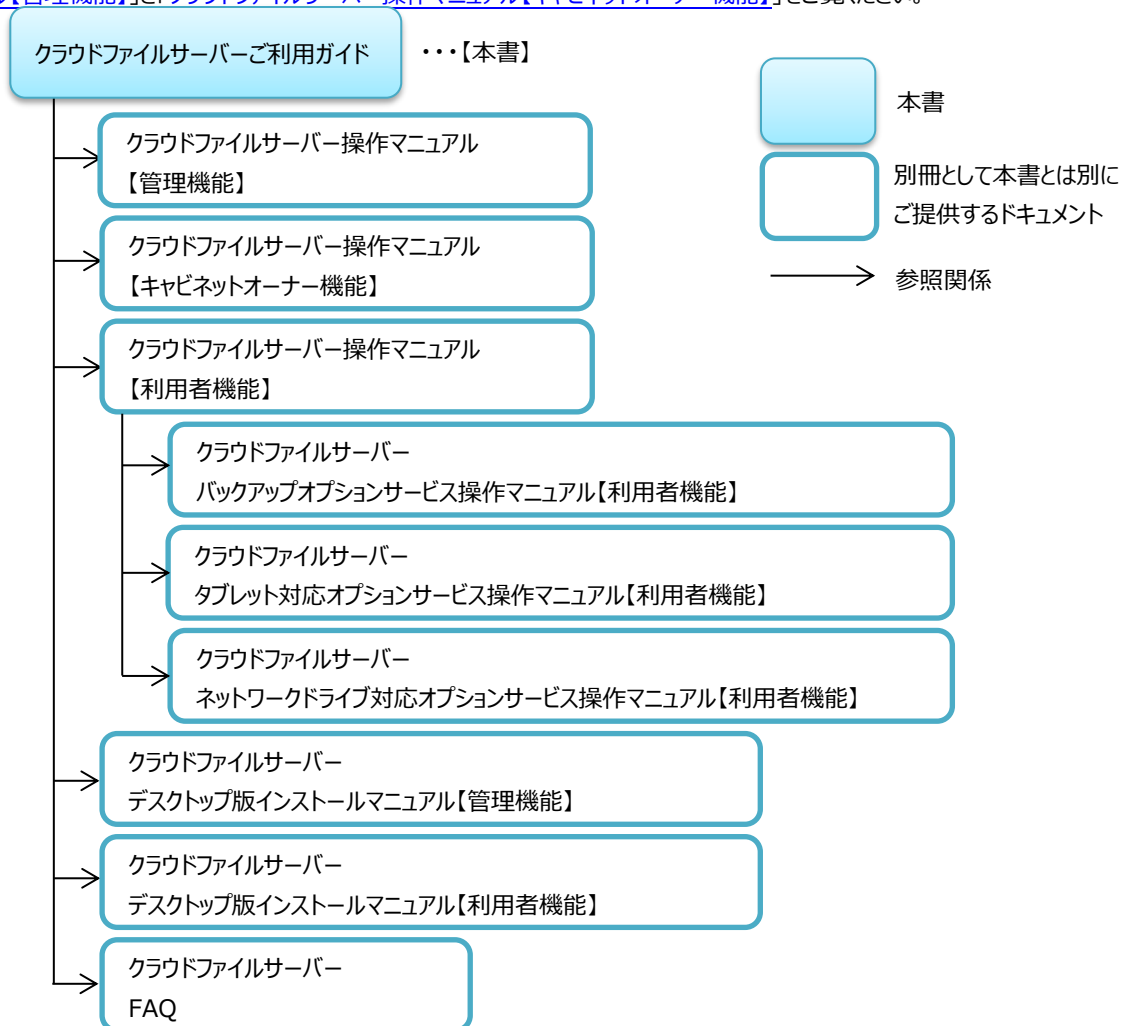
## 2. 本書の目的

ファイルサーバーが提供する機能概要や動作環境設定の説明、および別冊の各操作マニュアルをご覧頂くに当たっての前提知識について説明することを目的としています。各操作マニュアルをご覧いただく前に必ずお読みください。

## 3. 本書の位置づけ

本書は、他のドキュメントに対し、以下のような参照関係があります。必要に応じて対象のドキュメントをご参照ください。

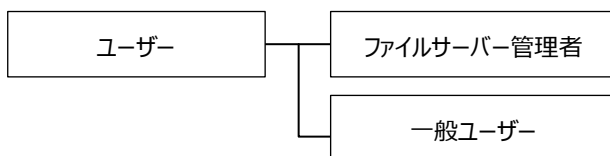
なお、オプションサービスのファイルサーバー管理者およびキャビネットオーナーの操作は、「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理機能】](#)」と「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【キャビネットオーナー機能】](#)」をご覧ください。



## 4. ファイルサーバーのユーザー構成と機能概要を理解する

本章では、ファイルサーバーのユーザー構成や機能概要について説明します。機能詳細および操作方法については、別冊の操作マニュアルをご覧ください。

ファイルサーバーのユーザーは、管理権限が付与されたユーザー（以下、ファイルサーバー管理者）と管理権限を付与されないユーザー（以下、一般ユーザー）で構成されます。キャビネットオーナー権限（以下、キャビネットオーナー）は、ファイルサーバー管理者や一般ユーザーからキャビネットごとに付与します。



ファイルサーバーのユーザーに各権限を付与することで、次のような機能を利用できるようになります。

権限 \ 機能	管理機能	利用者機能	キャビネットオーナー機能
管理権限	○	○	×
キャビネットオーナー権限	×	○	○
管理権限とキャビネットオーナー権限	○	○	○
上記権限なし	×	○	×

- (1) ユーザー  
ファイルサーバー管理者、一般ユーザーといったファイルサーバーを利用するすべてのユーザーの総称です。
- (2) ファイルサーバー管理者  
ファイルサーバーを管理するユーザーです。管理権限を付与されたユーザーをいいます。管理権限は、複数のユーザーに付与することができます。管理機能と利用者機能（アップロードやダウンロード、フォルダ作成など）を利用することができます。
- (3) 一般ユーザー  
管理権限がないユーザーをいいます。利用者機能を利用できます。
- (4) キャビネットオーナー  
ファイルサーバーに作成するキャビネットというファイルの格納庫を管理する役割を担います。キャビネットオーナーは、ファイルサーバー管理者や一般ユーザーから選定され、キャビネットごとに存在します。キャビネットオーナーに選定されたユーザーは、キャビネットオーナー機能を利用することができます。キャビネットオーナーは、ひとつのキャビネットに複数選定することができます。なお、キャビネットの詳細は、本書の「5.ファイルサーバーのファイル管理を理解する」をご覧ください。

ファイルサーバーで提供される機能は、次のとおりです。

(1) 管理機能

ファイルサーバーを運用するための機能です。管理機能 URL からログインすることで次のような機能を利用することができます。

- ・ ユーザーID の発行
- ・ ファイルサーバーの利用容量とユーザー数の設定
- ・ ファイルサーバーへのアクセス制限の設定
- ・ 版数管理の利用有無の設定
- ・ キャビネットの作成およびキャビネットオーナーの選定
- ・ ファイルサーバーの利用容量とユーザー数の照会
- ・ ファイルサーバーを利用するユーザーの操作ログ照会
- ・ オプションサービスの設定

管理機能の詳細は、別冊の「クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理機能】」をご覧ください。

(2) 利用者機能

ファイルを保管・共有するための機能です。利用者機能 URL からログインすることで次のような機能を利用することができます。

- ・ ファイルやフォルダのアップロード
- ・ ファイルやフォルダのダウンロード
- ・ ファイルの直接編集
- ・ ファイルやフォルダの削除（ごみ箱に移動）
- ・ ファイルサーバー内でのファイルやフォルダの複写
- ・ ファイルサーバー内でのファイルやフォルダの移動
- ・ ファイルのロック取得
- ・ 削除されたファイルやフォルダの復元（ごみ箱からの復元）
- ・ ごみ箱からの完全削除
- ・ ファイル名でのファイル検索
- ・ 通信環境の設定
- ・ ファイルダブルクリックの動作設定
- ・ フォルダツリーの表示設定
- ・ ファイルの版数管理

利用者機能の詳細は、別冊の「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【利用者機能】](#)」をご覧ください。

(3) キャビネットオーナー機能

キャビネットを運用するための管理機能です。利用者機能 URL からログインすることで次のような機能を利用することができます。

- ・ キャビネットにアクセスできるユーザーの割当
- ・ ドロアやサブドロアの作成
- ・ グループの登録
- ・ ドロアやサブドロアに対してユーザーやグループごとのアクセス権限の設定
- ・ バックアップオプションサービスへのアクセス権限の設定

ドロアやサブドロアについては、本書の「5.ファイルサーバーのファイル管理を理解する」をご覧ください。

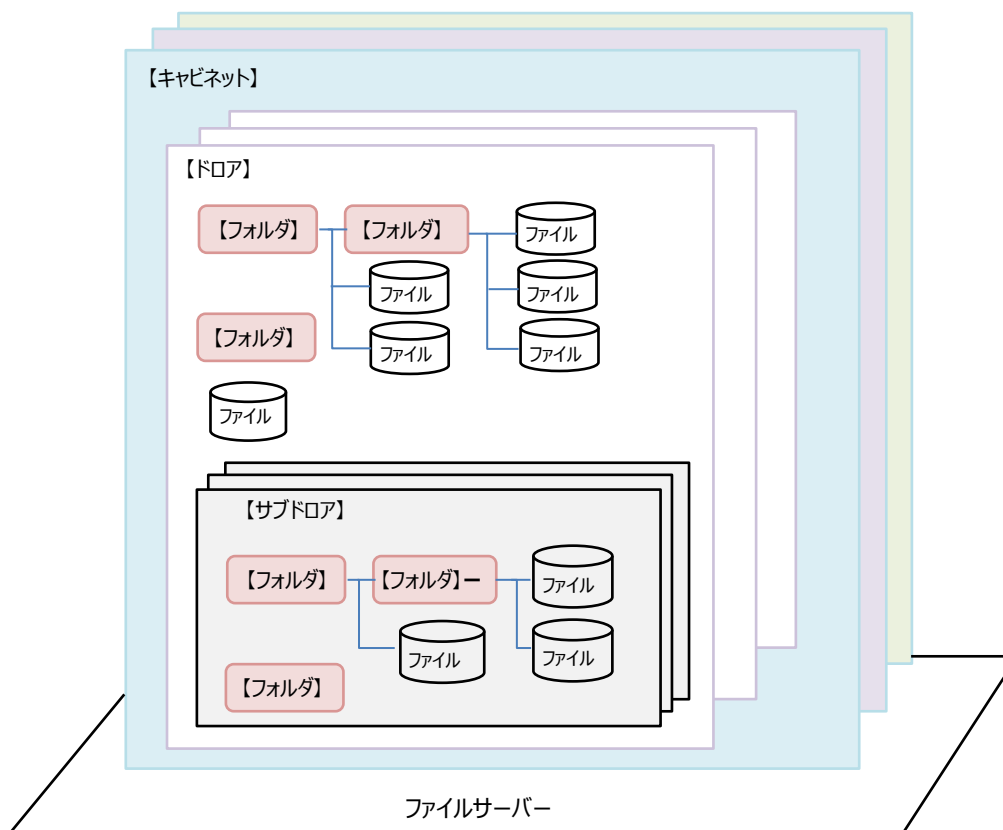
キャビネットオーナー機能の詳細は、別冊の「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【キャビネットオーナー機能】](#)」をご覧ください。

## 5. ファイルサーバーのファイル管理を理解する

本章では、ファイルサーバーのファイル管理の構造について説明します。

### 5.1. ファイル管理の構造

ファイルサーバーは、【キャビネット】-【ドロー】-【サブドロー】（任意に作成）-【フォルダ】（任意に作成）-【ファイル】という階層構造でファイルを管理します。



#### (1) キャビネット

キャビネットとは、ファイル管理の最上位の階層に位置づけられる格納庫です。部門単位、社内外のプロジェクト、ワーキンググループ、その他ファイル共有の目的に応じて、ファイルサーバー内に複数作成することができます。キャビネットには、ユーザーを割当てます。キャビネットに割当てられたユーザーのみがアクセスできます。

キャビネットには、共有キャビネットとプライベートキャビネットがあります。

共有キャビネットは、割り当てられたユーザー間でファイルを保管・共有するためのキャビネットです。

プライベートキャビネットは、個人専用のキャビネットです。他のユーザーは利用することができません。

## (2) ドロア

ドロアとは、キャビネットの直下に作成されるファイル管理の第 2 階層に位置づけられる格納庫です。キャビネット内をさらに細分化してファイルやフォルダを管理することができます。ドロアは、キャビネット内に複数作成することができ、ドロアごとにアクセス権限（以下、ドロアアクセス権限）を設定します。ドロアアクセス権限は、キャビネットに割当てられたユーザーから設定します。また、キャビネットに割当てられたユーザーからグループ（以下、グループ）を作成し、そのグループに対してドロアアクセス権限を設定できます。

ユーザーやグループは、ドロアアクセス権限が与えられたドロアのみ利用が許可されます。

ドロアアクセス権限には、更新権限と参照権限があります。更新権限と参照権限によって、ユーザーが利用できる機能は次のとおりです。

○：利用可能を示す ×：利用不可能を示す

操作	参照権限	更新権限
アップロード	×	○
ダウンロード（表示）	○	○
ダウンロード（保存）	○	○
直接編集	×	○
ファイルのロック取得	×	○
削除（ごみ箱への移動）	×	○
名前の変更	×	○
フォルダ作成	×	○
コピー	×	○
移動	×	○
ごみ箱内の表示	×	○
ごみ箱内の復元（削除元への復元）	×	○
ごみ箱内の削除（完全削除）	×	○
ファイル名検索	○	○
ファイルの版数管理	○	○
フォルダツリー表示	○	○

ドロアは、利用目的に応じて任意にサブドロアを作成することができます。

サブドロアにサブドロアを作成することはできません。ドロアの階層は、サブドロアを含めて 2 階層までとなります。サブドロア配下には、ドロアと同じくフォルダやファイルを保存することができます。

(3) フォルダ

フォルダは、ドローアやサブドローアの直下あるいは別のフォルダに作成でき、ドローアやサブドローア内をさらに細分化してファイルを管理することができます

フォルダへのアクセス権限は、ドローアアクセス権限が適用されます。

(4) ファイル

Microsoft Office で作成したファイルなど、さまざまなファイルを保存することができます。

ファイルは、フォルダやドローア、サブドローアの直下に保存することができます。ファイルへのアクセス権限は、ドローアアクセス権限が適用されます。



## 5.2. 階層構造の作成

キャビネット、ドロア、サブドロア、フォルダ、ファイルの作成条件は次のとおりです。

階層	作成要否	作成できるユーザー	作成可能数
キャビネット	必須	ファイルサーバー管理者	制限なし
ドロア	必須	キャビネットオーナー	制限なし
サブドロア	任意	キャビネットオーナー	制限なし <sup>※1</sup>
フォルダ	任意	ファイルサーバー管理者 一般ユーザー キャビネットオーナー	制限なし <sup>※2</sup>
ファイル	任意	ファイルサーバー管理者 一般ユーザー キャビネットオーナー	制限なし

※1: サブドロアは、ドロアの直下に作成します。サブドロアの「制限なし」とは、ドロア直下に作成できるサブドロアの数を行います。サブドロア配下にサブドロアは作成できません。

※2: フォルダは、ドロアまたはサブドロアの直下、あるいは別のフォルダに作成できます。その作成数に制限はありません。

## 6. 動作環境

本章では、ファイルサーバー（Web アプリケーション）の利用に当たって、クライアントパソコン（以下、パソコン）の動作環境について説明します。

パソコンの動作環境は、次のとおりです。

OS	Microsoft Windows10 Pro/Enterprise【32bit/64bit】（日本語/英語）
	Microsoft Windows11 Pro【32bit/64bit】（日本語/英語）
ブラウザ	Microsoft Edge（IE モードのみ）
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework4.5 以上
メモリ	1GB 以上
画面解像度	1024×768 以上
ハードディスク	アップロード、ダウンロード時にファイルの暗号化、復号をパソコンで行います。一度にアップロード、ダウンロードする全ファイル容量以上の空き容量が必要となります。
CPU	OS およびブラウザの動作環境を満たせば、特に制限はありません。
ネットワーク	<p>設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)へ接続する必要があります。</p> <p>※お客様環境にて、パソコンからの接続先を Firewall 等で制限している場合は、Firewall 等の管理者に設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)への接続許可を設定してもらう必要があります。</p> <p>※Web アプリケーションの場合、お客様環境にて、インターネットへアクセスする際にプロキシ認証を使用されている場合は、プロキシ等の管理者に、設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)へのプロキシ認証を解除してもらう必要があります。</p> <p>※設定完了通知書は、本サービスご利用の窓口担当者の方に送付しています。</p>
シンクライアント	サポート対象外です。
「直接編集機能」 に対応する ソフトウェア	<p>Microsoft Word 2016／2019／Microsoft 365</p> <p>Microsoft Excel 2016／2019／Microsoft 365</p> <p>Microsoft PowerPoint 2016／2019／Microsoft 365</p> <p>Windows メモ帳</p> <p>※Excel では「ブックの共有」の設定が ON である場合は保存できません。</p>

## 7. パソコンの動作環境の設定とインストール

本章では、ファイルサーバーをご利用に当たって、パソコンで必要となる Microsoft .NET Framework（以下、.NET Framework）のインストールと Microsoft Edge（IE モード）/インターネットオプション の設定について説明します。既に、.NET Framework がインストールされているパソコンは、本書「7.2.NET Framework のインストール」を行う必要はありません。

### 7.1. パソコンの環境設定手順

7.2 .NET Framework のインストール



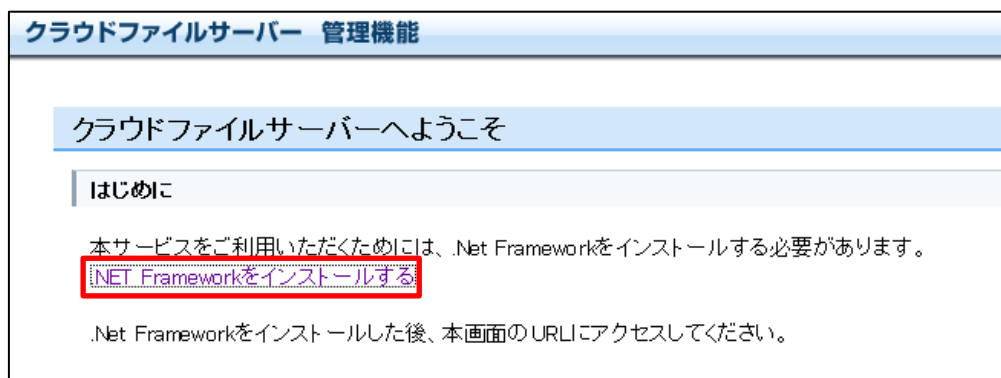
7.3 インターネットオプションの設定

……既にインストールされている場合は不要です。  
次の「7.3 インターネットオプションの設定（Web アプリケーション版）」にお進みください。

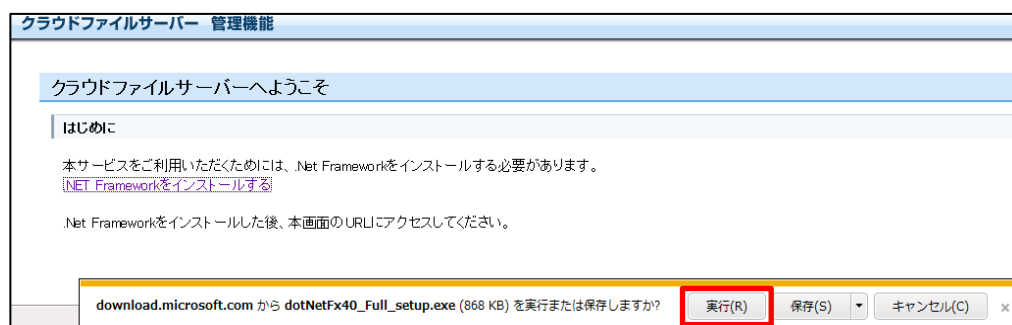
## 7.2. .NET Framework のインストール

.NET Framework のインストールは、Windows の管理者権限で行います。Windows の管理者権限でログイン後、以下の手順でインストールします。

- (1) Microsoft Edge (IE モード) を起動し、管理機能または利用者機能の URL にアクセスします。  
ここでは、管理機能の URL (以下、管理機能 URL) にアクセスした場合の手順で説明します。利用者機能の URL (以下、利用者機能 URL) にアクセスした場合も同様の手順となります。  
管理機能 URL および利用者機能 URL は、弊社から発行する「設定完了通知書」をご覧ください。
- (2) 管理機能の Welcome 画面が表示されます。  
パソコンに .NET Framework がインストールされていない場合は、【.NET Framework をインストールする】のリンクが表示されます。【.NET Framework をインストールする】をクリックします。  
既に、.NET Framework インストールされている場合は、当画面は表示されませんので、以降「7.2.NET Framework のインストール」は行う必要はありません。

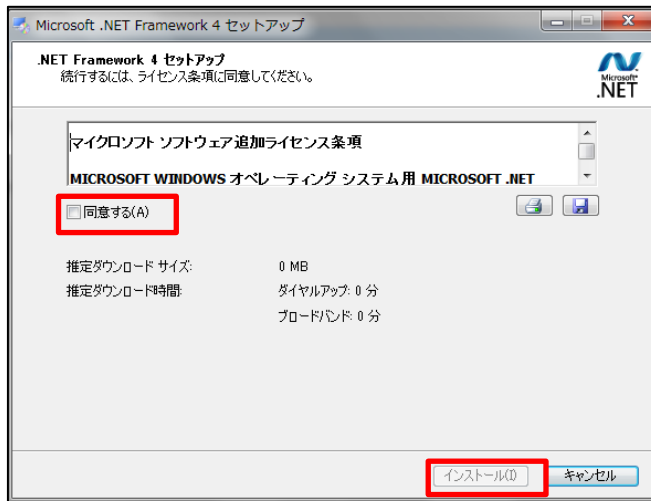


- (3) .NET Framework をインストールする画面が表示されます。【実行】をクリックします。

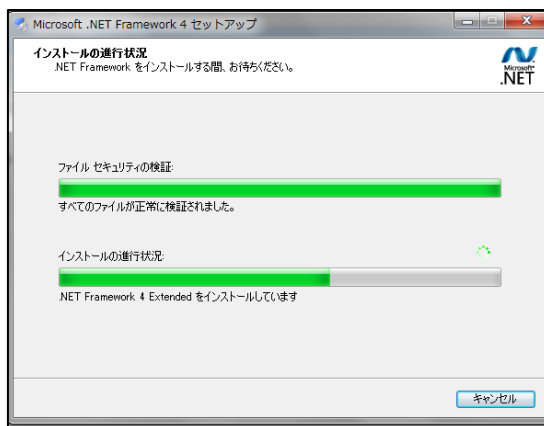


.NET Framework のインストール (コンピュータへの変更許可) 確認ポップアップ画面が表示されます。  
【はい】をクリックします。

- (4) .NET Framework のセットアップ画面が表示されます。  
【同意する】—【インストール】の順番でクリックします。



- (5) .NET Framework のインストールが開始されます。



- (6) インストールが完了します。【完了】をクリックします。



- (7) ブラウザを閉じます。再度、管理機能 URL または利用者機能 URL にアクセスすると、管理機能または利用者機能の「クラウドファイルサーバーへようこそ」画面（以下、Welcome 画面）が表示されます。【クラウドファイルサーバーを開く】をクリックします。

クラウドファイルサーバー 管理機能

---

**クラウドファイルサーバーへようこそ**

**デスクトップ版について【推奨】**

デスクトップ版は、ご利用のWindowsパソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしたがいインストールして下さい。  
管理者機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

ブラウザアプリケーション版をご利用の場合は、以下をご参照下さい。

---

**ご利用にあたって**

本サービスをご利用いただくためには、本サービスのURLをInternet Explorerの「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

**【登録方法】**  
[インターネットオプション]の[セキュリティ]で[信頼済みサイト]を選択し、[サイト] ボタンをクリックします。  
[このWebサイトをゾーンに追加する] に本画面のURLを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

---

**Internet Explorer ご利用の際の注意事項**

Internet Explorer 11 をご利用の際は、インターネットオプションの詳細設定を変更する必要があります。

**【変更方法】**  
[インターネットオプション]の[詳細設定]を選択します。  
[設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

下のボタンをクリックした際にエラー画面が表示され、ログイン画面が表示されない場合は[FAQ](#)もご確認ください。

クラウドファイルサーバーを開く

---

**クラウドファイルサーバーへの接続可否の確認**

ご利用になるネットワーク環境のプロキシやファイアウォールで接続先を制限している場合は、接続確認を行ってください。

接続を確認する

以上で、.NET Framework のインストールは終了です。

### 7.3. インターネットオプションの設定（Web アプリケーション版）

- (1) Microsoft Edge（IE モード）を起動します。
- (2) 弊社から発行します「設定完了通知書」に記載します URL にアクセスします。  
管理機能は、管理機能 URL にアクセスします。利用者機能またはキャビネットオーナー機能は、利用者機能 URL にアクセスします。
- (3) それぞれの Welcome 画面が表示されます。以下は、管理機能の Welcome 画面です。

クラウドファイルサーバー
管理機能

#### クラウドファイルサーバーへようこそ

##### デスクトップ版について【推奨】

デスクトップ版は、ご利用のWindowsパソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしたがいインストールして下さい。  
管理者機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

ブラウザアプリケーション版をご利用の場合は、以下をご参照下さい。

##### ご利用にあたって

本サービスをご利用いただくためには、本サービスのURLをInternet Explorerの「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

**【登録方法】**  
 [インターネットオプション]の[セキュリティ]で[信頼済みサイト]を選択し、  
 [サイト] ボタンをクリックします。  
 [このWebサイトをゾーンに追加する] に本画面のURLを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

##### Internet Explorer ご利用の際の注意事項

Internet Explorer 11 をご利用の際は、インターネットオプションの詳細設定を変更する必要があります。

**【変更方法】**  
 [インターネットオプション]の[詳細設定]を選択します。  
 [設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

下のボタンをクリックした際にエラー画面が表示され、ログイン画面が表示されない場合は[FAQ](#)もご確認ください。

クラウドファイルサーバーを開く

##### クラウドファイルサーバーへの接続可否の確認

ご利用になるネットワーク環境のプロキシやファイアウォールで接続先を制限している場合は、接続確認を行ってください。

接続を確認する

以下は、利用者機能の Welcome 画面です。

クラウドファイルサーバー
Language : [English](#)

### クラウドファイルサーバーへようこそ

**デスクトップ版について【推奨】**

デスクトップ版は、ご利用のWindowsパソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしたがいインストールして下さい。  
一般利用者およびキャピネットオーナー機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

ブラウザアプリケーション版をご利用の場合は、以下をご参照下さい。

**ご利用にあたって**

本サービスをご利用いただくためには、本サービスのURLをInternet Explorerの「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

**【登録方法】**  
[インターネットオプション]の[セキュリティ]で[信頼済みサイト]を選択し、  
[サイト] ボタンをクリックします。  
[このWebサイトをゾーンに追加する] に本画面のURLを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

**Internet Explorer ご利用の際の注意事項**

Internet Explorer 11 をご利用の際は、インターネットオプションの詳細設定を変更する必要があります。

**【変更方法】**  
[インターネットオプション]の[詳細設定]を選択します。  
[設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

下のボタンをクリックした際にエラー画面が表示され、ログイン画面が表示されない場合は[FAQ](#)もご確認ください。

クラウドファイルサーバーを開く

バックアップを開く

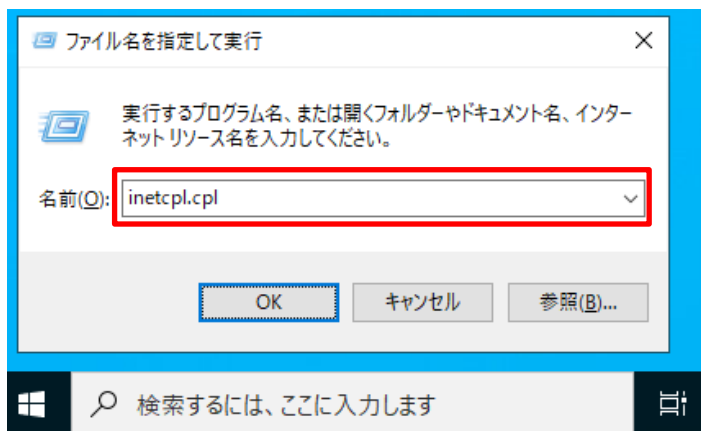
**クラウドファイルサーバーへの接続可否の確認**

ご利用になるネットワーク環境のプロキシやファイアウォールで接続先を制限している場合は、接続確認を行ってください。

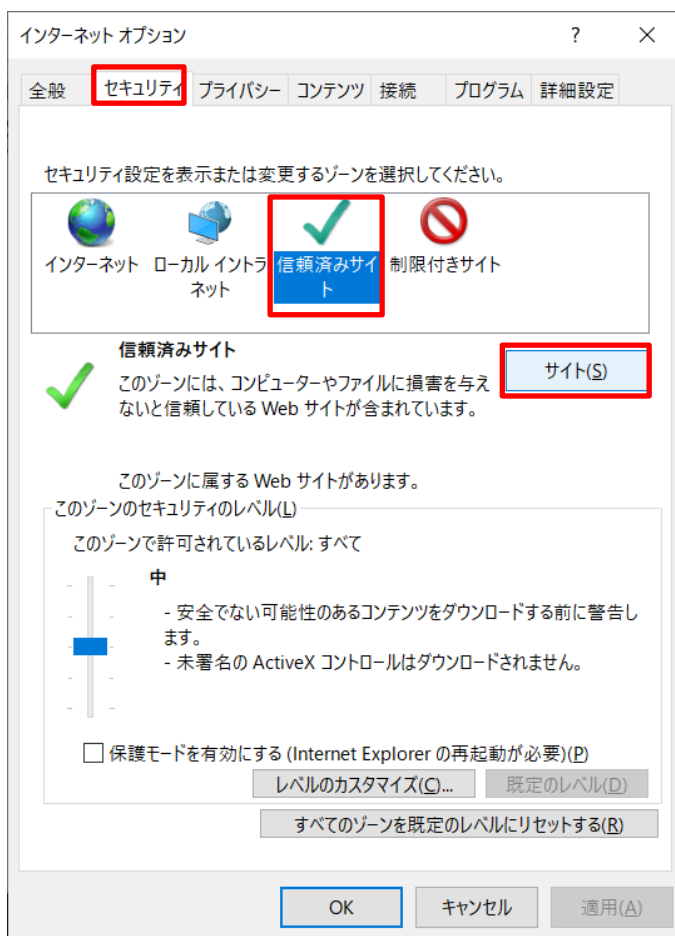
接続を確認する



- (4) [Windows]キーを押しながら[R キー]を押下し、「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。  
入力欄に[ inetctl.cpl ]を入力し、[OK]ボタンを押下します。



- (5) インターネットオプション画面が表示されます。インターネットオプション画面の【セキュリティ】－【信頼済みサイト】－【サイト】の順番でクリックします。



- (6) 信頼済みサイト画面が表示されます。信頼済みサイト画面の【この Web サイトをゾーンに追加する】に、以下 2 つの URL を【この Web サイトをゾーンに追加する】に入力し、【追加】ボタンをクリックします。

Web アプリケーション用	https://*.fs.fj-cloud.net
ネットワークドライブ対応オプション用	file://*.fs.fj-cloud.net@ssl

信頼済みサイト

このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D):

Web サイト(W):

このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする(S)

- (7) 【Web サイト】に、上記の URL が追加されていることを確認し、【閉じる】をクリックします。

信頼済みサイト

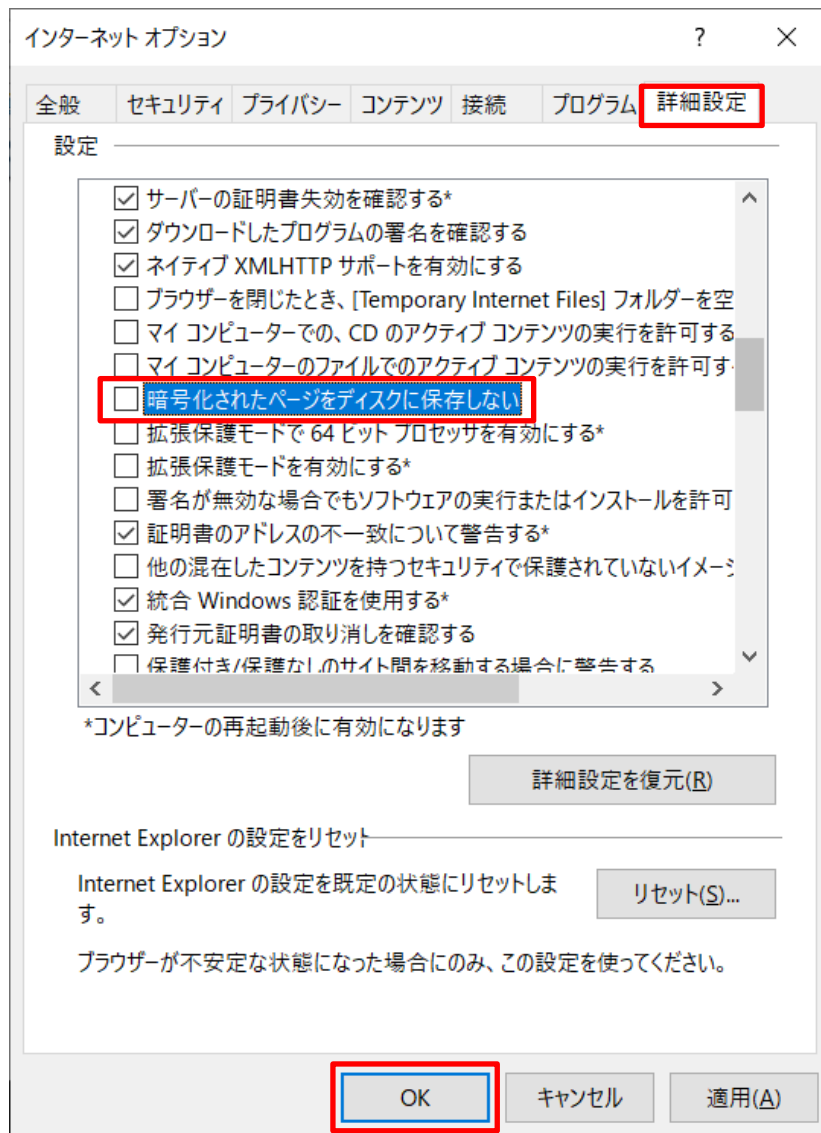
このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D):

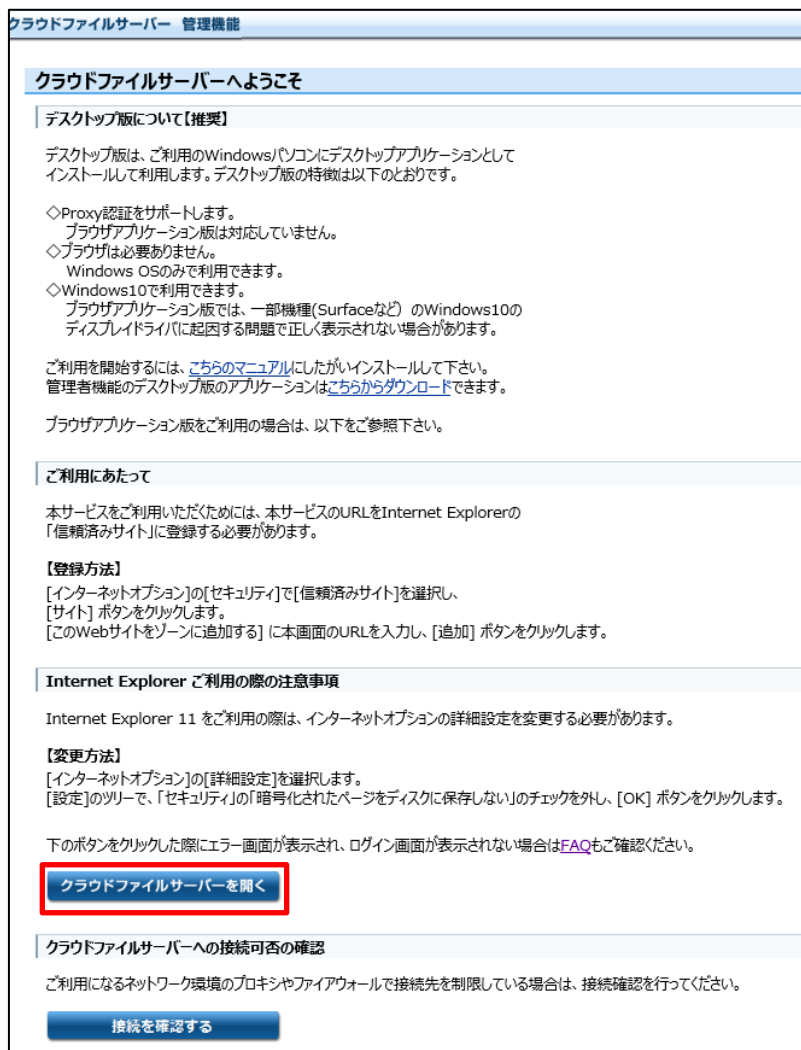
Web サイト(W):

このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする(S)

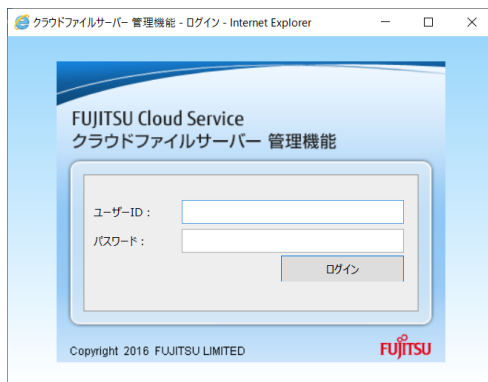
- (8) 次の設定を行います。
- ① インターネットオプション画面から【詳細設定】タブをクリックします。
  - ② セキュリティ【暗号化されたページをディスクに保存しない】のチェックボックスがチェックされている場合は、チェックを外します。
- (9) 【適用】または【OK】ボタンをクリックして、インターネットオプション画面を閉じます。



- (10) 管理機能 URL または利用者機能 URL にアクセスすると、Welcome 画面が表示されます。【ファイルサーバーを開く】をクリックします。



- (11) 管理機能または利用者機能のログイン画面が表示されます。



## 8. ファイルサーバーご利用にあたっての作業手順

本章では、ファイルサーバーの利用にあたり、ファイルサーバー管理者とキャビネットオーナーが行う作業について説明します。

### 8.1. ファイルサーバー管理者の作業手順

ファイルサーバー管理者は、管理機能 URL にアクセスします。ユーザーID と初期パスワードでログインし、次のような手順で作業を行います。



## 8.2. キャビネットオーナーの作業手順

キャビネットオーナーの作業は、利用者機能 URL にアクセスして行います。ファイルサーバー管理者が設定したユーザーIDと初期パスワードで利用者機能にログインし、一般ユーザーがファイルサーバーを利用できるように次のような手順で作業を行います。



※1 サブドドアの作成は任意です。作成する場合は、ドドアの配下に作成します。

## 9. はじめてログインする際の初期パスワードの変更

本章では、ファイルサーバーにはじめてログインした時の初期パスワード変更手順について説明します。

初期パスワードの変更は、すべてのユーザーがはじめてファイルサーバーにログインする際に行います。ファイルサーバー管理者は、管理機能または利用者機能にログインし初期パスワードの変更を行います。一般ユーザーは、利用者機能にログインし初期パスワードの変更を行います。

### 9.1. ファイルサーバー管理者の初期パスワード変更

- (1) ブラウザを起動し、管理機能 URL にアクセスします。
- (2) 管理機能の Welcome 画面が表示されます。【クラウドファイルサーバーを開く】をクリックします。

クラウドファイルサーバー 管理機能

### クラウドファイルサーバーへようこそ

**デスクトップ版について【推奨】**

デスクトップ版は、ご利用のWindows/パソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしたがいインストールして下さい。  
管理者機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

ブラウザアプリケーション版をご利用の場合は、以下をご参照下さい。

**ご利用にあたって**

本サービスをご利用いただくためには、本サービスのURLをInternet Explorerの「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

**【登録方法】**

[インターネットオプション]の[セキュリティ]で[信頼済みサイト]を選択し、  
[サイト] ボタンをクリックします。  
[このWebサイトをゾーンに追加する] に本画面のURLを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

**Internet Explorer ご利用の際の注意事項**

Internet Explorer 11 をご利用の際は、インターネットオプションの詳細設定を変更する必要があります。

**【変更方法】**

[インターネットオプション]の[詳細設定]を選択します。  
[設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

下のボタンをクリックした際にエラー画面が表示され、ログイン画面が表示されない場合は[FAQ](#)もご確認ください。

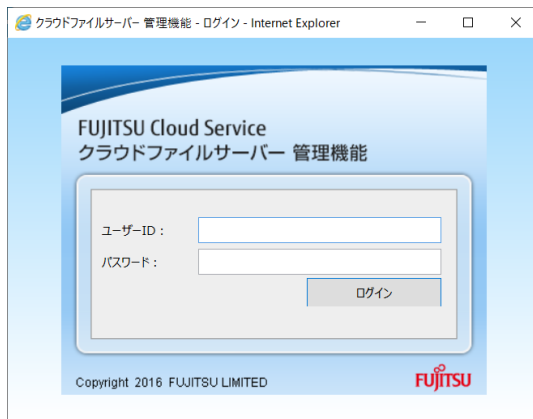
**クラウドファイルサーバーを開く**

**クラウドファイルサーバーへの接続可否の確認**

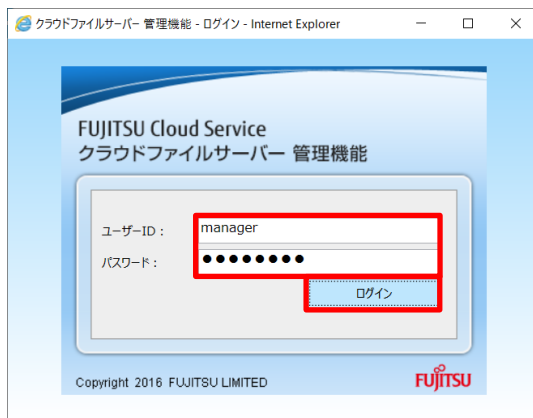
ご利用になるネットワーク環境のプロキシやファイアウォールで接続先を制限している場合は、接続確認を行ってください。

接続を確認する

- (3) 管理機能のログイン画面が表示されます。



- (4) ログイン画面の【ユーザーID】と【パスワード】にユーザーIDと初期パスワードを入力し、【ログイン】ボタンをクリックします。



- (5) パスワードの変更画面が表示されます。

ユーザーID:	manager02
ユーザー名:	サービスマネージャ
現パスワード:	<input type="password"/>
新パスワード:	<input type="password"/>
新パスワード(確認):	<input type="password"/>

パスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。



- (6) 【現パスワード】に初期パスワードを入力します。

ユーザーID: manager02  
ユーザー名: サービスマネージャ  
現パスワード: ●●●●●●●●●●  
新パスワード:   
新パスワード(確認):   
パスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。  
OK キャンセル

- (7) 【新パスワード】に新たなパスワードを入力します

パスワードは、半角 8 文字以上 32 文字以下で入力してください。パスワードに使えるのは、全ての英字と数字および記号です。大文字と小文字は区別されます。パスワードは、以下の組み合わせで入力します。

- ・ 数字と英字
- ・ 数字と記号
- ・ 数字と英字と記号

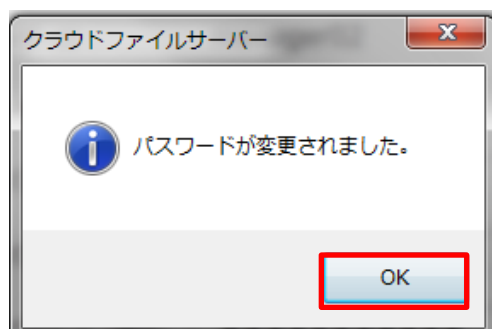
ユーザーID: manager02  
ユーザー名: サービスマネージャ  
現パスワード: ●●●●●●●●●●  
新パスワード: ●●●●●●●●●●  
新パスワード(確認):   
パスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。  
OK キャンセル

- (8) 新しいパスワードを確認するために、【新パスワード(確認)】に新パスワードを再度入力します。

【現パスワード】、【新パスワード】、【新パスワード(確認)】に入力したら、【OK】ボタンをクリックします。

ユーザーID: manager02  
ユーザー名: サービスマネージャ  
現パスワード: ●●●●●●●●●●  
新パスワード: ●●●●●●●●●●  
新パスワード(確認): ●●●●●●●●●●  
パスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。  
OK キャンセル

- (9) パスワード変更が正常に終わると、パスワード変更完了のポップアップ画面が表示されます。  
パスワード変更完了ポップアップ画面の【OK】ボタンをクリックし、パスワード変更画面を閉じます。



既に、利用者機能にログインし、利用者機能で初期パスワードを変更している場合は、パスワード変更画面は表示されません。

以上で、はじめてログインした時の初期パスワードの変更は終了です。

## 9.2. 一般ユーザーの初期パスワード変更

- (1) ブラウザを起動し、利用者機能 URL からファイルサーバーにアクセスします。
- (2) ファイルサーバーの Welcome 画面が表示されます。【ファイルサーバーを開く】をクリックします。

クラウドファイルサーバー
Language : [English](#)

**クラウドファイルサーバーへようこそ**

**デスクトップ版について【推奨】**

デスクトップ版は、ご利用のWindowsパソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしたがいインストールして下さい。  
一般利用者およびキャピネットオーナー機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

ブラウザアプリケーション版をご利用の場合は、以下をご参照下さい。

**ご利用にあたって**

本サービスをご利用いただくためには、本サービスのURLをInternet Explorerの「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

**【登録方法】**  
 [インターネットオプション]の[セキュリティ]で[信頼済みサイト]を選択し、  
 [サイト] ボタンをクリックします。  
 [このWebサイトをゾーンに追加する] に本画面のURLを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

**Internet Explorer ご利用の際の注意事項**

Internet Explorer 11 をご利用の際は、インターネットオプションの詳細設定を変更する必要があります。

**【変更方法】**  
 [インターネットオプション]の[詳細設定]を選択します。  
 [設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

下のボタンをクリックした際にエラー画面が表示され、ログイン画面が表示されない場合は[FAQ](#)もご確認ください。

クラウドファイルサーバーを開く

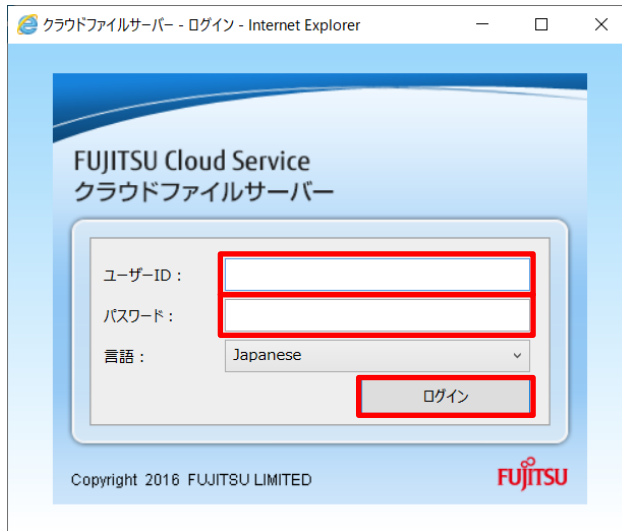
バックアップを開く

**クラウドファイルサーバーへの接続可否の確認**

ご利用になるネットワーク環境のプロキシやファイアウォールで接続先を制限している場合は、接続確認を行ってください。

接続を確認する

- (3) ファイルサーバーのログイン画面が表示されます。  
 【ユーザーID】と【パスワード】にユーザーIDと初期パスワードを入力し、【ログイン】ボタンをクリックします。



- (4) パスワードの変更画面が表示されます。

パスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。

現パスワード

新パスワード

新パスワード (確認)

- (5) 【現パスワード】に初期パスワードを入力します。

パスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。

現パスワード

新パスワード

新パスワード (確認)

## (6) 【新パスワード】に新たなパスワードを入力します

パスワードは、半角 8 文字以上 32 文字以下で入力してください。パスワードに使えるのは、全ての英字と数字と記号です。大文字と小文字は区別されます。パスワードは、以下の組み合わせで入力します。

- 数字と英字
- 数字と記号
- 数字と英字と記号

パスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。

現パスワード	<input type="password"/>
新パスワード	<input type="password"/>
新パスワード (確認)	<input type="password"/>

OK キャンセル

## (7) 新しいパスワードを確認するために、【新パスワード (確認)】に新パスワードを再度入力します。

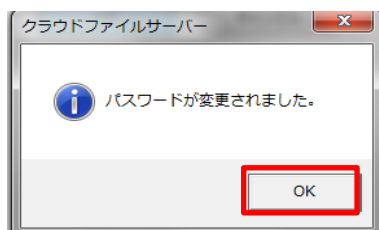
【現パスワード】、【新パスワード】、【新パスワード (確認)】に入力したら、【OK】ボタンをクリックします。

パスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。

現パスワード	<input type="password"/>
新パスワード	<input type="password"/>
新パスワード (確認)	<input type="password"/>

OK キャンセル

## (8) パスワード変更が正常に終わると、パスワード変更完了ポップアップ画面が表示されます。パスワード変更完了ポップアップ画面の【OK】ボタンをクリックし、パスワード変更画面を閉じます。



既に、管理機能にログインし、初期パスワードを変更している場合は、利用者機能では、初期パスワードの変更画面は表示されません。

以上で、はじめてログインした時の初期パスワードの変更は終了です。

## 10. サポート言語

本章では、サポートする言語と、表示する言語の切り替え操作について説明します。

各機能で表示できる言語は、次のとおりです。

機能	言語	
	日本語	英語
管理機能	○	×
利用者機能	○	○
キャビネットオーナー機能	○	○

また、表示する言語の切り替え対象は、次のとおりです。

- ・ Welcome 画面
- ・ ログイン画面
- ・ ログイン後画面と操作メニュー（以下、ログイン後画面）

Welcome 画面とログイン画面およびログイン後画面は、日本語 OS では自動的に日本語で表示されます。英語 OS では自動的に英語で表示されます。

Welcome 画面とログイン画面は、それぞれの画面で表示する言語を変えることができます。ログイン後画面は、ログイン画面の言語で表示されます。ログイン後画面で言語を変えることはできません。

なお、英語 OS で日本語を表示させる場合は、日本語の言語パックがインストールされている必要があります。

## 10.1. Welcome 画面で表示する言語を切り替える

- (1) ブラウザを起動し、利用者機能 URL からファイルサーバーにアクセスします。
- (2) Welcome 画面が表示されます。  
「Language」の【English】をクリックします。

クラウドファイルサーバー Language **English**

### クラウドファイルサーバーへようこそ

**デスクトップ版について【推奨】**

デスクトップ版は、ご利用のWindowsパソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしがいいインストールして下さい。  
一般利用者およびキャピネットオーナー機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

ブラウザアプリケーション版をご利用の場合は、以下をご参照下さい。

**ご利用にあたって**

本サービスをご利用いただくためには、本サービスのURLをInternet Explorerの「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

**【登録方法】**

[インターネットオプション]の[セキュリティ]で[信頼済みサイト]を選択し、  
[サイト] ボタンをクリックします。  
[このWebサイトをゾーンに追加する] に本画面のURLを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

**Internet Explorer ご利用の際の注意事項**

Internet Explorer 11 をご利用の際は、インターネットオプションの詳細設定を変更する必要があります。

**【変更方法】**

[インターネットオプション]の[詳細設定]を選択します。  
[設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

下のボタンをクリックした際にエラー画面が表示され、ログイン画面が表示されない場合は[FAQ](#)もご確認ください。

[クラウドファイルサーバーを開く](#) [バックアップを開く](#)

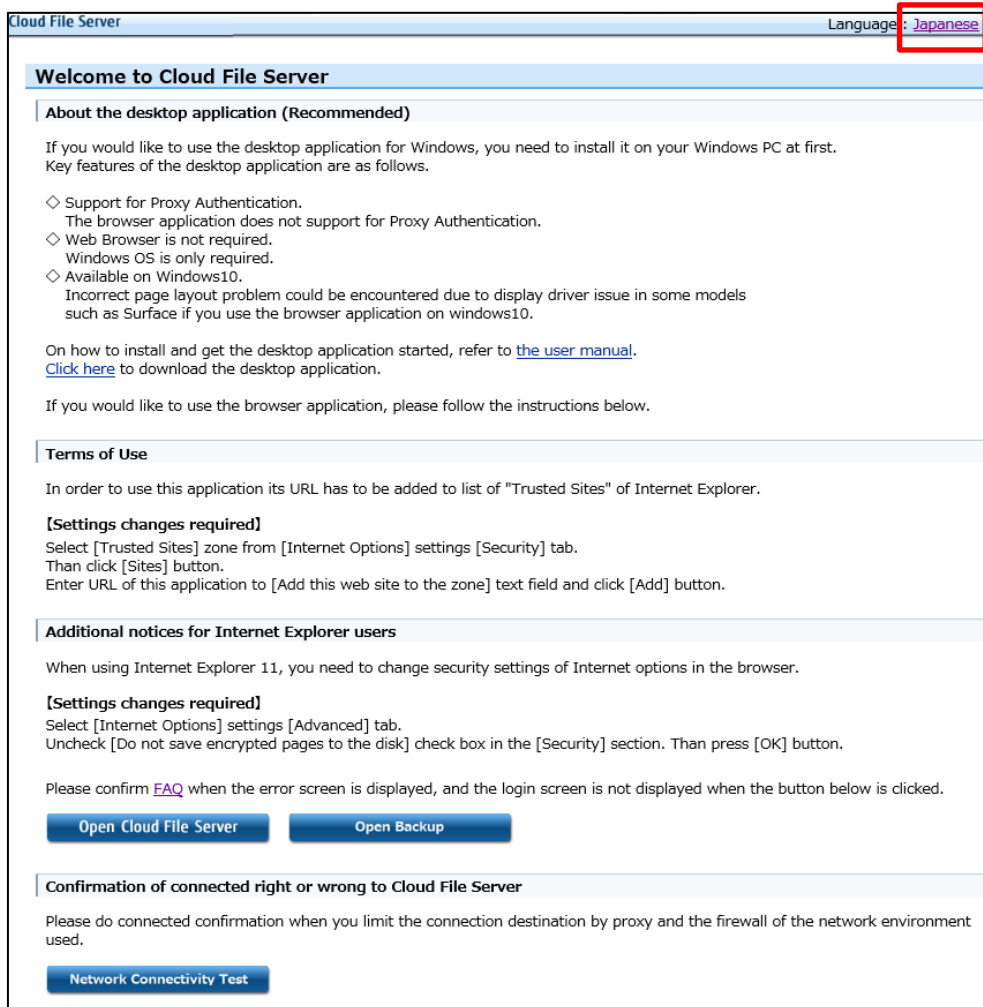
**クラウドファイルサーバーへの接続可否の確認**

ご利用になるネットワーク環境のプロキシやファイアウォールで接続先を制限している場合は、接続確認を行ってください。

[接続を確認する](#)

(3) 英語表示に変わります。

同時に「Language」が【Japanese】に変わります。なお、【Japanese】をクリックすると日本語表示に戻すことができます。



The screenshot shows the Cloud File Server web interface. At the top right, there is a language selection dropdown menu currently set to "Japanese", which is highlighted with a red box. The main content area is titled "Welcome to Cloud File Server" and contains several sections:

- About the desktop application (Recommended)**: Provides instructions for installing the desktop application on Windows, including key features like Proxy Authentication support, browser requirements, and OS compatibility.
- Terms of Use**: Explains that the application's URL must be added to the "Trusted Sites" list in Internet Explorer, with specific steps for settings changes.
- Additional notices for Internet Explorer users**: Advises on changing security settings in Internet Explorer 11 and provides further instructions for settings changes.
- At the bottom of this section, there are two buttons: "Open Cloud File Server" and "Open Backup".
- Confirmation of connected right or wrong to Cloud File Server**: Requests confirmation of network connectivity when using proxy or firewall, with a "Network Connectivity Test" button below.



## 10.2. ログイン画面とログイン後画面の言語を切り替える

- (1) Welcome 画面で、【クラウドファイルサーバーを開く】をクリックします。

クラウドファイルサーバー
Language : [English](#)

### クラウドファイルサーバーへようこそ

**デスクトップ版について【推奨】**

デスクトップ版は、ご利用のWindowsパソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしたがいインストールして下さい。  
一般利用者およびキャピネットオーナー機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

ブラウザアプリケーション版をご利用の場合は、以下をご参照下さい。

**ご利用にあたって**

本サービスをご利用いただくためには、本サービスのURLをInternet Explorerの「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

**【登録方法】**  
[インターネットオプション]の[セキュリティ]で[信頼済みサイト]を選択し、  
[サイト] ボタンをクリックします。  
[このWebサイトをゾーンに追加する] に本画面のURLを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

**Internet Explorer ご利用の際の注意事項**

Internet Explorer 11 をご利用の際は、インターネットオプションの詳細設定を変更する必要があります。

**【変更方法】**  
[インターネットオプション]の[詳細設定]を選択します。  
[設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

下のボタンをクリックした際にエラー画面が表示され、ログイン画面が表示されない場合は[FAQ](#)もご確認ください。

クラウドファイルサーバーを開く

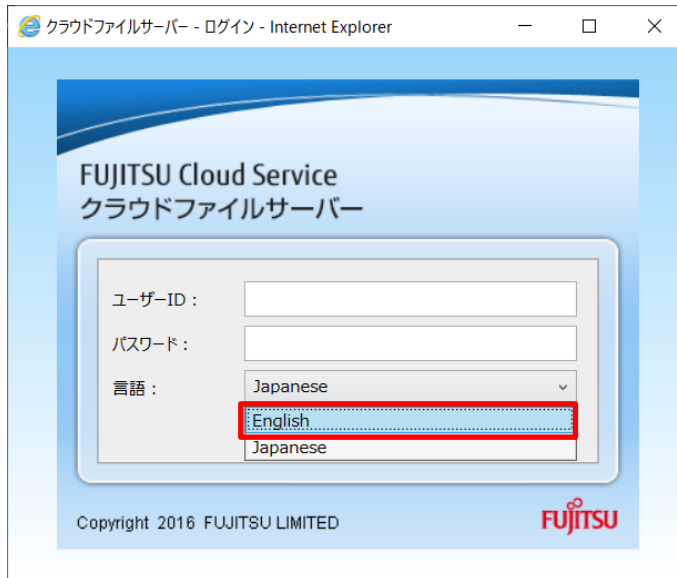
バックアップを開く

**クラウドファイルサーバーへの接続可否の確認**

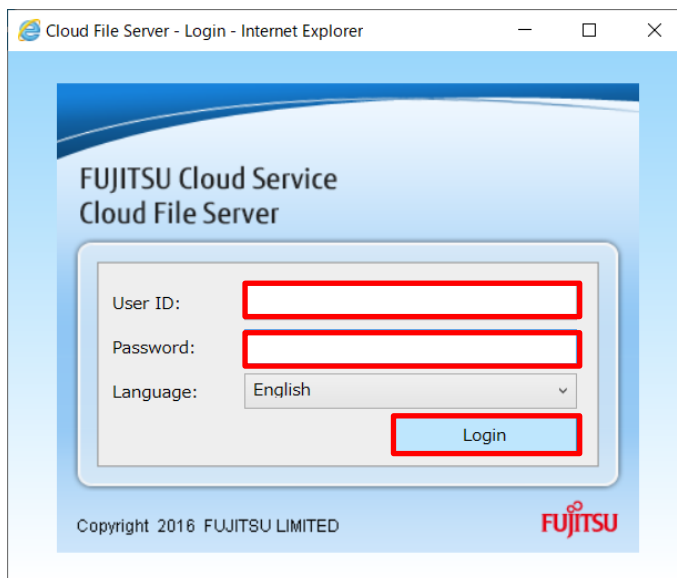
ご利用になるネットワーク環境のプロキシやファイアウォールで接続先を制限している場合は、接続確認を行ってください。

接続を確認する

- (2) ログイン画面が表示されます。  
リストボックスで【English】を選択します。



- (3) ログイン画面が英語表示に変わります。  
【User ID】と【Password】を入力し、【Login】をクリックします。なお、リストボックスで【Japanese】を選択すると、ログイン画面を日本語表示に戻すことができます。



## 11. 留意事項（必ずお読みください）

本章では、ファイルサーバーをご利用に当たっての留意事項について説明します。

- (1) パソコンの日付と時刻の設定について  
本サービスをご利用の際、使用するパソコンは、時刻サーバ(NTP サーバ)等と同期するなど正確な時刻にする必要があります。正確な時刻でない場合は、ログインできない可能性があります。
- (2) ネットワーク切断時について  
パソコンのネットワークが切断されると、ブラウザで動作しているアプリケーションが終了する場合があります。その際は、再度、ファイルサーバーにログインし直してください。
- (3) ネットワークの設定について  
お客様環境にて、パソコンからの接続先を Firewall 等で制限している場合は、Firewall 等の管理者に設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)への接続許可を設定してもらう必要があります。  
お客様環境にて、インターネットへアクセスする際にプロキシ認証を使用されている場合は、プロキシ等の管理者に、設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)へのプロキシ認証を解除してもらう必要があります。  
設定完了通知書は、本サービスご利用の窓口担当者の方に送付しています。
- (4) サポートポータルへの FAQ 掲載について  
よくある質問について、サポートポータルサイトに「[クラウドファイルサーバーFAQ](#)」として掲載しています。クラウドファイルサーバーを起動できない場合などにご覧ください。
- (5) オープンソースソフトウェアについて  
本製品には本書に記載するオープンソースソフトウェア（以下「OSS」といいます）が含まれています。各 OSS のライセンス条件は以下の記載の通りとなります。「[SaaS サービス利用規約](#)」および「[サービス仕様](#)」に定める責任を除き、弊社は OSS について一切の保証を行わず、また OSS の使用に伴い生じる損害や第三者からの請求等について一切の責任を負わないものとします。

名称	バージョン	ライセンス条件
.NET Framework	4.5～	MIT License ※1
Knockout	2.1.0	MIT License ※2
Json.NET	5.0.8	MIT License ※3
Entity Framework	5.0.0	Entity Framework 5 License ※4

※1 Copyright (c) .NET Foundation and Contributors

※2 Copyright (c) 2010 Steven Sanderson, the Knockout.js team, and other contributors

※3 Copyright (c) 2007 James Newton-King

以下に定める条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書のファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得するすべての人に対し、ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許可します。これには、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、頒布、サブライセンス、および/または販売する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利も無制限に含まれます。

上記の著作権表示および本許諾表示を、ソフトウェアのすべての複製または重要な部分に記載するものとします。

ソフトウェアは「現状のまま」で、明示であるか暗黙であるかを問わず、何らの保証もなく提供されます。ここでいう保証とは、商品性、特定の目的への適合性、および権利非侵害についての保証も含みますが、それに限定されるものではありません。作者または著作権者は、契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、ソフトウェアに起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとします。

※4 Entity Framework 5 License

マイクロソフト ソフトウェア 追加ライセンス条項

ENTITY FRAMEWORK 5.0 FOR MICROSOFT WINDOWS OPERATING SYSTEM

Microsoft Corporation（以下「マイクロソフト」といいます）は、本追加ソフトウェアのライセンスをお客様に供与します。Microsoft Windows Operating System ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）を使用するためのライセンスを取得している場合は、本追加ソフトウェアを使用できます。本ソフトウェアのライセンスを取得していない場合は、本追加ソフトウェアを使用することはできません。お客様は、本ソフトウェアの有効なライセンス取得済みの複製 1 部ごとに本追加ソフトウェアを使用できます。

以下のライセンス条項は、について説明しています。これらの条項と本ソフトウェアのライセンス条項が本追加ソフトウェアの使用に適用されます。両者の間に矛盾がある場合は、本追加ライセンス条項が適用されます。

本追加ソフトウェアを使用することにより、お客様はこれらの条項に同意されたものとします。これらの条項に同意されない場合、本追加ソフトウェアを使用することはできません。

お客様がこれらのライセンス条項を遵守することを条件として、お客様は以下が許諾されます。

1. 再頒布可能コード 本追加ソフトウェアは再頒布可能コードで構成されています。「再頒布可能コード」とは、お客様が開発されたプログラムに含めて再頒布することができるコードです。ただし、お客様は以下の条件に従うものとします。

**\*\*a. 使用および再頒布の権利 \*\***

お客様は、本追加ソフトウェアをオブジェクト コード形式で複製し、再頒布することができます。

第三者による再頒布 お客様は、お客様のプログラムの頒布者に対して、お客様のプログラムの一部として再頒布可能コードの複製および頒布を許可することができます。

b. 再頒布の条件 お客様は、お客様が頒布するすべての再頒布可能コードにつき、以下に従わなければならないりません。

お客様のプログラムにおいて再頒布可能コードに重要な新しい機能を追加すること

.lib というファイル名拡張子が付いた再頒布可能コードの場合は、リンカーによってその再頒布可能コードを実行した結果だけをお客様のプログラムと共に再頒布すること。

セットアップ プログラムに含まれる再頒布可能コードを、改変されていないセットアップ プログラムの一部としてのみ頒布すること。

お客様のアプリケーションの頒布者およびエンド ユーザーに、本ライセンス条項と同等以上に再頒布可能コードを保護する条項に同意させること

お客様のアプリケーションにお客様名義の有効な著作権表示を行うこと

お客様のプログラムの頒布または使用に関するクレームについて、マイクロソフトを免責、保護、補償すること (弁護士費用についての免責、保護、補償も含む)

c. 再頒布の制限 以下の行為は一切禁止されています。

再頒布可能コードの著作権、商標または特許の表示を改変すること

お客様のプログラムの名称の一部にマイクロソフトの商標を使用したり、お客様の製品がマイクロソフトから由来したり、マイクロソフトが推奨するように見せかけること

Windows プラットフォーム以外のプラットフォームで実行ために再頒布可能コードを再頒布すること

再頒布可能コードを悪質、詐欺的または違法なプログラムに組み込むこと

除外ライセンスのいずれかの条項が適用されることとなるような方法で再頒布可能コードのソース コードを改変または再頒布すること。「除外ライセンス」とは、使用、改変または再頒布の条件として以下の条件を満たすことを要求するライセンスです。

コードをソース コード形式で公表または頒布すること

他者が改変を行う権利を有すること

2. 本追加ソフトウェアのサポート サービス マイクロソフトは、本ソフトウェアに対し

<https://www.support.microsoft.com/common/international.aspx> で説明されるサポート  
サービスを提供します。

## 12. デスクトップアプリケーションを利用する

ファイルサーバーの「管理機能」と「利用者機能」をデスクトップアプリケーションとしてご利用できます。デスクトップアプリケーションは「管理機能」と「利用者機能」に分かれています。お使いになる機能をパソコンにインストールことでご利用が可能です。

### (1) .NET Framework のインストール

パソコンに.NET Framework がインストールされていない場合は、7.2. .NET Framework のインストールをご覧ください。NET Framework をインストールします。

### (2) 各機能のインストール

ブラウザから「クラウドファイルサーバーへようこそ」ページを開き、「デスクトップ版について」項目にある「デスクトップアプリケーションは、こちらからダウンロード できます」のリンクよりインストーラーファイルをダウンロードし、インストールします。

クラウドファイルサーバー Language : [English](#)

### クラウドファイルサーバーへようこそ

**デスクトップ版について【推奨】**

デスクトップ版は、ご利用のWindowsパソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしたがいインストールして下さい。  
一般利用者およびキャビネットオーナー機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

	利用者機能	管理機能
ダウンロード先	<a href="https://***.fs.fj-cloud.net/">https://***.fs.fj-cloud.net/</a>	<a href="https://***.fs.fj-cloud.net/manager/">https://***.fs.fj-cloud.net/manager/</a>

※ダウンロード先の\*\*\*はお客様により異なります。

### (3) デスクトップアプリケーションの起動

スタートメニューより利用者機能は「Cloud File Server User」、管理機能は「Cloud File Server Manager」から起動します。

ダウンロードやインストール、ログイン方法の詳細につきましては別冊の「[クラウドファイルサーバー デスクトップ版インストールマニュアル【利用者機能】](#)」、「[クラウドファイルサーバー デスクトップ版インストールマニュアル【管理機能】](#)」をご覧ください。

## 12.1. デスクトップアプリケーションの動作環境

デスクトップアプリケーションを利用するに当たって、パソコンの動作環境について説明します。

パソコンの動作環境は、次のとおりです。

OS	Microsoft Windows10 Pro/Enterprise【32bit/64bit】（日本語/英語）
	Microsoft Windows11 Pro【32bit/64bit】（日本語/英語）
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework4.5 以上
メモリ	1GB 以上
CPU	OS の動作環境を満たせば、特に制限はありません。
画面解像度	1024×768 以上
ハードディスク	アップロード、ダウンロード時にファイルの暗号化、復号をパソコンで行います。一度にアップロード、ダウンロードする全ファイル容量以上の空き容量が必要となります。
ネットワーク	設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)へ接続する必要があります。 ※お客様環境にて、Firewall 等でパソコンからの接続先を制限している場合は、設定完了通知書に記載の接続先情報(URL)への接続を許可する設定を管理者に行ってもら必要があります。 ※設定完了通知書は、本サービスご利用の窓口担当者の方に送付しています。
シンクライアント	サポート対象外です。
「直接編集機能」 に対応する ソフトウェア	Microsoft Word 2016／2019／Microsoft 365 Microsoft Excel 2016／2019／Microsoft 365 Microsoft PowerPoint 2016／2019／Microsoft 365 Windows メモ帳 ※Excel では「ブックの共有」の設定が ON である場合は保存できません。



### 13. オプションサービスを利用する

オプションサービスは、ファイルサーバーの付加価値機能です。オプションサービスは、次の機能を提供します。

#### (1) バックアップオプションサービス

ファイルサーバーに保存されているキャビネット、ドロア、サブドロア、フォルダ、ファイルなどのデータのバックアップを行います。バックアップされたフォルダやファイルは、一般ユーザーがバックアップ操作画面から復元することができます。バックアップは、最大 3 世代まで保管できます。

さらに、キャビネットオーナー機能でキャビネット単位にバックアップデータへのアクセス権限を設定することができます。アクセス権限が付与されたユーザーのみが当該キャビネットのバックアップデータにアクセスすることができます。

バックアップオプションサービスは、ファイルサーバー管理者が管理機能の「オプションサービス管理」メニューから「利用する」を設定することで利用できます。バックアップオプションサービスにアクセスするための URL は、利用者機能の URL と同様です。

#### <主な流れ>

ファイルサーバー管理者	利用設定	1)「管理機能」 - [オプションサービス管理] - [バックアップ] を“利用する”に設定 2)「開始時間」「曜日」「保持世代数」を設定
	マニュアル	<a href="#">クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理機能】</a> 16.1.バックアップオプションサービスの利用設定を行う
キャビネットオーナー	利用設定	1)「利用者機能」 - [管理] - [キャビネット] - [ユーザー割当]の “バックアップアクセス権”を設定 ※バックアップオプションを“利用する”場合のみご利用可能
	マニュアル	<a href="#">クラウドファイルサーバー操作マニュアル【キャビネットオーナー機能】</a> 8.3.バックアップされたキャビネットへのアクセス権限を設定する
一般ユーザー	利用設定	1)Welcome 画面の「バックアップを開く」もしくは、デスクトップ版のログイン画面のオプションを展開し“バックアップ”を選択 2)ユーザーID/パスワードを入力しログイン ※バックアップの利用には権限が必要です。詳細はお客様の管理者にお問い合わせください。
	マニュアル	<a href="#">クラウドファイルサーバー バックアップ オプションサービス操作マニュアル【利用者機能】</a>

## (2) タブレット対応オプションサービス

ファイルサーバーの一般ユーザーの機能をタブレットのブラウザで操作することができます。ファイルサーバー管理者の管理機能やキャビネットオーナー機能およびバックアップデータへのアクセスは、できません。タブレット対応オプションサービスで提供される機能は、利用者機能のうち次の機能となります。

メニュー	機能
アップロード	タブレットに保存されているファイルをファイルサーバーにアップロードします。最大100MBのファイルをアップロードできます。
ダウンロード	ファイルサーバーに保存されているファイルをタブレットに保存または表示します。
名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します。
削除	ファイルやフォルダを削除します。
フォルダ作成	フォルダを作成します。
ロック取得	ファイルをロックします。他のユーザーが当該ファイルを直接編集したり、アップロード、コピー、移動による上書き保存することを阻止します。
最新の情報に更新	画面をリフレッシュします。ファイルサーバーに保存されているファイルやフォルダを表示します。

## &lt;主な流れ&gt;

ファイルサーバー管理者	利用設定	1)「管理機能」 - [オプションサービス管理] - [タブレット] を“利用する”に設定 2)「ネットワークドライブ利用ユーザー」にユーザーを追加
	マニュアル	<a href="#">クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理機能】</a> 16.2.タブレット対応オプションサービスの利用設定を行う
一般ユーザー	利用設定	1)Web ブラウザから以下 URL を開く <code>https://***.fs.fj-cloud.net/mobile</code> ※お客様環境により、Microsoft Office アップロードセンターで、ファイルを閉じる際にキャッシュを削除する設定が必要です。
	マニュアル	<a href="#">クラウドファイルサーバー タブレット対応 オプションサービス操作マニュアル【利用者機能】</a>

## (3) ネットワークドライブ対応オプションサービス

ファイルサーバーの利用者機能を、ネットワークドライブとして割り当てて利用することができます。お使いのパソコンに割り当てることでファイルやフォルダの操作を慣れた環境でお使いできます。

ネットワークドライブでは、パソコンに対応ソフトウェアが搭載されていれば、直接編集機能の対応ファイル形式の制限はありません。

## &lt;主な流れ&gt;

ファイルサーバー管理者	利用設定	1)「管理機能」 - [オプションサービス管理] - [ネットワークドライブ] を“利用する”に設定 2)「ネットワークドライブ利用ユーザー」にユーザーを追加
	マニュアル	<a href="#">クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理機能】</a> 16.3 ネットワークドライブ対応オプションサービスの利用設定を行う
一般ユーザー	利用設定	1)インターネットオプションの信頼済みサイトに以下 URL を追加 <code>file://*.fs.fj-cloud.net@ssl</code> 2)ネットワークドライブとして以下 URL を割り当てる <code>https://***.fs.fj-cloud.net/dav</code> ※お客様環境により、Microsoft Office アップロードセンターで、ファイルを閉じる際にキャッシュを削除する設定が必要です。
	マニュアル	<a href="#">クラウドファイルサーバー ネットワークドライブ対応オプションサービス操作マニュアル【利用者機能】</a>

## &lt;注意！&gt;

- ネットワークドライブ対応オプションサービスのご利用にあたっては、キャビネット名やドロア名、サブドロア名に「\_（アンダースコア）」等の禁止文字が含まれている場合、該当のキャビネットやドロア、サブドロアが表示されません。留意事項や操作に関する詳細は上記マニュアルをご覧ください。
- ご契約内容によっては、ネットワークドライブ対応オプションがご利用いただけない場合がございます。

### 13.1. バックアップオプションサービスの動作環境

バックアップオプションサービスを利用するに当たって、パソコンの動作環境について説明します。

パソコンの動作環境は、次のとおりです。オプションサービスでは利用できません。

OS	Microsoft Windows10 Pro/Enterprise【32bit/64bit】（日本語/英語）
	Microsoft Windows11 Pro【32bit/64bit】（日本語/英語）
ブラウザ	Microsoft Edge（IEモードのみ）
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework4.5 以上
メモリ	1GB 以上
画面解像度	1024×768 以上
ハードディスク	ダウンロード時にファイルの復号をパソコンで行います。一度にダウンロードする全ファイル容量以上の空き容量が必要となります。
CPU	OS およびブラウザの動作環境を満たせば、特に制限はありません。
シンクライアント	サポート対象外です。

## 13.2. タブレット対応オプションサービスの動作環境

タブレット対応オプションサービスを利用するに当たって、動作環境について説明します。

OSとブラウザの動作環境は、次のとおりです。

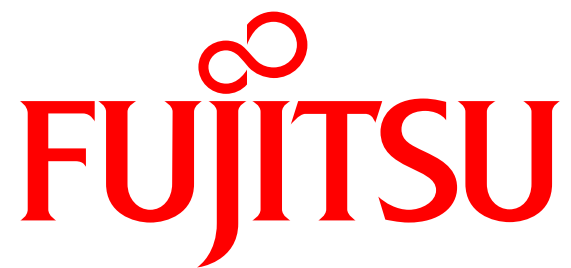
OS	ブラウザ
Microsoft Windows 10【32bit/64bit】(日本語)	Microsoft Edge 116 Google Chrome 116 Mozilla Firefox 116
Microsoft Windows 11【32bit/64bit】(日本語)	Microsoft Edge 116 Google Chrome 116 Mozilla Firefox 116
macOS Big Sur 11 (日本語)	Safari 14
macOS Monterey 12 (日本語)	Safari 15
macOS Ventura 13 (日本語)	Safari 16
iPadOS 14 (日本語)	Safari 14
iPadOS 15 (日本語)	Safari 15
iPadOS 16 (日本語)	Safari 16
Android 11 (日本語)	Google Chrome 116
Android 12 (日本語)	Google Chrome 116
Android 13 (日本語)	Google Chrome 116

### 13.3. ネットワークドライブ対応オプションサービスの動作環境

ネットワークドライブ対応オプションサービスを利用するに当たって、パソコンの動作環境について説明します。

パソコンの動作環境は、次のとおりです。

OS	Microsoft Windows 10 Pro/Enterprise【32bit/64bit】（日本語）
	Microsoft Windows 11 Pro【32bit/64bit】（日本語）
メモリ	1GB 以上
CPU	OS の動作環境を満たせば、特に制限はありません。
プロキシ環境	ネットワークドライブの利用時、プロキシ環境にてプロキシ認証が必要な場合、プロキシ側で WebDAV メソッドの通信許可が必要です。



**shaping tomorrow with you**